

津ライスニュース 平成27年産第3報 (通算第98号)

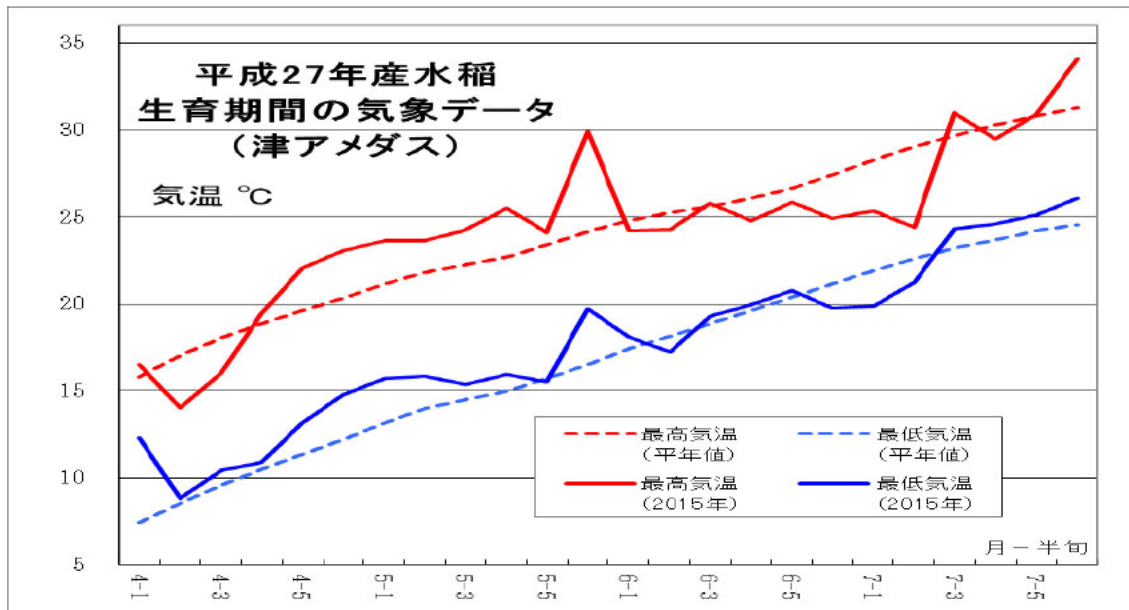
平成27年7月28日

津地域農業改良普及センター 電話:059-223-5121

気象経過

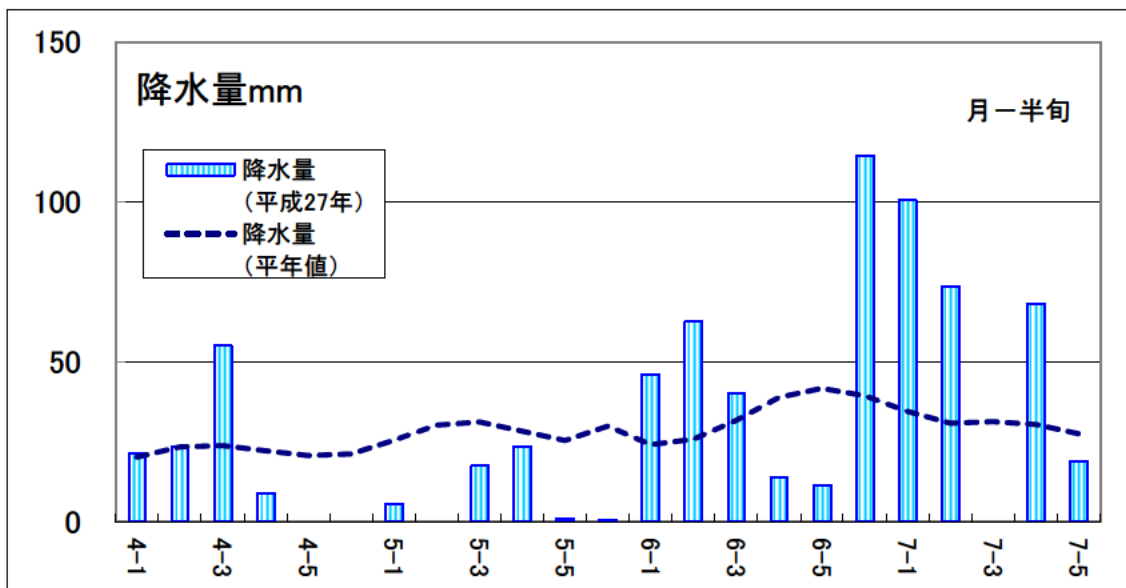
<気温>

4月中旬以降、気温は高めに経過し、特に5月末頃の気温が高くなりました。
6月に入り最高気温を中心に低温傾向となり、7月中旬にはやや高温に戻りました



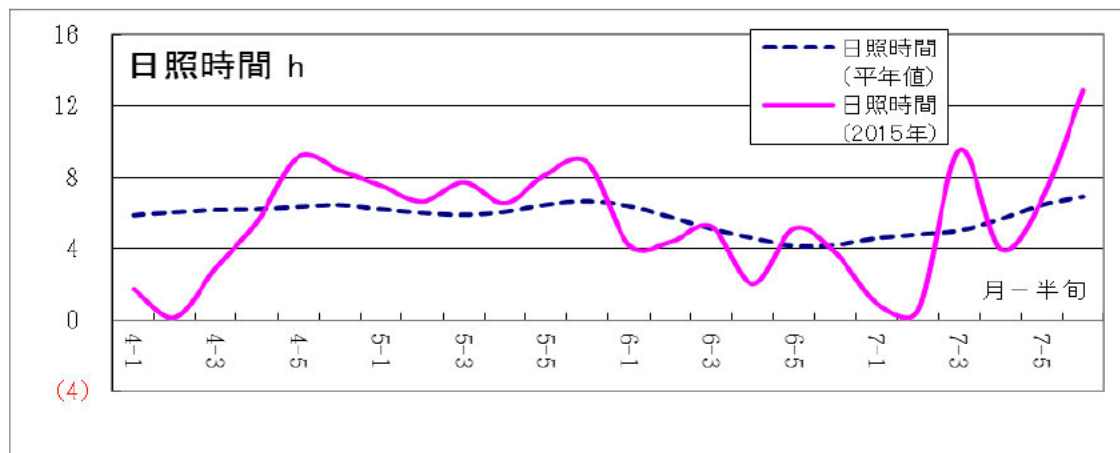
<降水量>

4月中旬に一時雨が多かったもののその後降水量は少なく、6月に入って雨が降るようになりました。6月末から7月は停滞する前線の影響で降雨量がかなり多くなりました。



<日照時間>

4月中旬以降、晴れた日が多く、6月入ってからは一転して曇天傾向が続いています。



生育の概況

津管内の生育基準田でも生育は順調で、前年同時期と比較すると葉齢の進展はやや早く、草丈は長く、茎数もやや多い状況となっています。出穂時期も平年より早い傾向でした。

7月16、17日の台風11号の襲来により、稲葉身の褐変や穂擦れ等が観察されており、収量への影響が懸念されます。

○水稲生育基準田の調査結果 【平成27年7月2日現在】

品種名	調査地点	移植日 (月.日)	草丈 (cm)	茎数		葉齢 (L)	葉色 (SPAD)
				(本/㎡)	(本/株)		
コシヒカリ	殿村	4.21	80	299.5	24.2		33.1
	一志町井生	4.25	72	471.3	24.6		30.2

[参考]前年同時期の調査結果 【平成26年7月7日時点】

品種名	調査地点	移植日 (月.日)	草丈 (cm)	茎数		葉齢 (L)	葉色 (SPAD)
				(本/㎡)	(本/株)		
コシヒカリ	向井	4.26	82	377.5	20.8	9.9	29.0
	一志町井生	4.29	79	439.6	21.1	10.3	26.8

今後の栽培管理

<水管理>

- ・出穂期は、水を保ちます。出穂後から収穫7日前までの期間は間断灌水を続けます。水をかける場合はなるべく夕方に行いましょう。
- ・水の溜めすぎは根の老化や根腐れの原因となります。(根数は出穂前20日頃に最大となり、出穂期には新根がほとんど出なくなります)
- ・早期落水は未熟粒や胴割れ米等が多発し玄米の品質が低下するので、落水は収穫前7日以降としましょう。(玄米の大きさは開花後25日頃に決まります)

<病害虫防除>

○いもち病

6月中旬以降、県内の広い範囲でいもち病の感染好適条件が現れてきています。
7月上旬以降も繰り返し感染好適条件が続いてきており、一部の地域では多発生ほ場も見られてきており、引き続き注意が必要な状況です。
ほ場を見回って、発生を確認した場合は早急に防除して、いもち病の進展、拡大を防ぎましょう。早期発見、早期防除が肝心です。

・斑点米カメムシ類の発生量は、平年並みとの発生予察情報が出ていますが、今後、畦畔等、ほ場周辺での発生増加に注意してください。

カメムシ類の増殖場所となるような畦畔雑草を早めに除去しましょう。

薬剤防除は穂揃い期に実施しましょう。広域での一斉防除が効果的です。

<適期収穫>

・穂の基部に緑色粃数が3～4粒程度残る頃が収穫適期です。また、コシヒカリでは粃水分が26～28%の頃が収穫適期となります。

・早刈りは未熟粒(青米や充実不足)の増加、刈り遅れは茶米や胴割粒の増加となり、いずれも品質が低下します。品質向上のために適期収穫を励行しましょう。

水稻生育予測					H27.7.27 現在
品種	移植期	幼穂形成期の予測日	出穂期の予測日	成熟期の予測日	(平均との差)
コシヒカリ	4月25日	6月26日	7月20日	8月22日	1.1日遅
	5月5日	7月3日	7月26日	8月27日	1.0日遅
	5月30日	7月20日	8月11日	9月15日	2.0日遅
三重23号	4月25日	6月20日	7月13日	8月13日	4.3日早
みえのゆめ	4月25日	7月5日	7月29日	9月3日	0.7日早
	5月30日	7月20日	8月30日	10月5日	12日遅

※三重県農業研究所作成の生育予測システムVer.9.2による生育予測です。
気象庁アメダス津観測地点データ(直近10カ年の平均気温)を使用しています。